

にほんまつ

市議会だより

第69号

12月定例会

令和5年2月1日発行
(2023年)

発行:二本松市議会

編集:議会だより編集委員会



二本松神社



秋葉神社

定例会概要…………… P.2～3
常任委員会審査報告 … P.4～5
一般質問…………… P.6～10

市長提出議案 25 議案

下水道事業会計決算の再認定

令和4年12月定例会では市長提出議案25件を審議し、全議案を原案どおり認定、承認、可決及び同意しました。

令和元年度から令和3年度の二本松市下水道事業会計決算の再認定については、令和3年度二本松市下水道事業会計決算に基づく消費税確定申告において、税務署から、「県から返還された流域維持管理負担金精算返戻金」に対して不課税扱いを課税扱いに変更するよう指摘を受け、令和元年度(平成30年度分)15,760,097円、令和2年度(令和元年度分)34,525,227円、令和3年度(令和2年度分)58,136,836円の3年分の決算を修正したものであり、全会一致で認定しました。

議案第104号

令和4年度一般会計補正予算案を可決

新型コロナウイルス感染症対応に係る措置では、新型コロナオミクロン株対応型ワクチン及び乳幼児へのワクチン接種実施に向けての事業など補正予算を全会一致で可決しました。

補正予算の主なもの

○保育施設運営事業者に対する物価高騰対策支援事業補助金	549万円
○新型コロナウイルスワクチン接種事業	3億6,254万円
○出産・子育て応援事業	3,390万円
○米価下落対策支援金	2,387万円
○商工団体等事業補助	2,050万円
○二本松城跡調査事業	6,992万円



教育委員会委員任命の同意

関 奈央子さん(戸沢・再任)

人権擁護委員候補者の推薦

斎藤 ひとみさん(針道・新任)

議員提出議案第3号

議会改革調査特別委員会を設置

議会の活性化と市民に分かりやすい議会活動を推進するため、議会改革に関する調査を行うことを目的として設置するもので、全会一致で可決しました。

質疑 ピックアップ

議案第90号

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について

問 60歳以後の賃金3割削減とする根拠を伺う。

答 人事院は平成30年に、民間の実情等を考慮し、全国一律に60歳を超える職員の月給を60歳時点の7割水準に設定した。本市も国家公務員と同様の考え方により措置するものである。

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第 86 号	令和元年度二本松市下水道事業会計決算の再認定について	原案認定
第 87 号	令和 2 年度二本松市下水道事業会計決算の再認定について	原案認定
第 88 号	令和 3 年度二本松市下水道事業会計決算の再認定について	原案認定
第 89 号	専決処分の承認を求めることについて (令和 4 年度二本松市一般会計補正予算)	原案承認
第 90 号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	原案可決
第 91 号	二本松市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 92 号	二本松市常勤の特別職の給与の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 93 号	二本松市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 94 号	二本松市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 95 号	二本松市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 96 号	二本松市英語指導を行う外国青年の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 97 号	二本松市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 98 号	二本松市特別会計条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 99 号	工事委託施行協定の変更について	原案可決
第100号	損害賠償額の決定について	原案可決
第101号	二本松市スカイピアあだたら温泉保養館の指定管理者の指定について	原案可決
第102号	二本松市スカイピアあだたらアクティブパークの指定管理者の指定について	原案可決
第103号	二本松市城山市民プールの指定管理者の指定について	原案可決
第104号	令和 4 年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第105号	令和 4 年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第106号	令和 4 年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第107号	令和 4 年度二本松市水道事業会計補正予算	原案可決
第108号	令和 4 年度二本松市下水道事業会計補正予算	原案可決
第109号	訴えの提起について	原案可決
第110号	二本松市教育委員会委員任命の同意について	原案同意

○委員会提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第 4 号	ミニマム・アクセス米の削減など運用を改め、生産費を償う価格下支えと食料支援の制度化を求める意見書の提出について	原案可決

○議員提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第 3 号	議会改革調査特別委員会の設置について	原案可決

○請願とその審議結果

受理番号	件名	結果
第 7 号	ミニマム・アクセス米の削減など運用を改め、生産費を償う価格下支えと食料支援の制度化を求める請願	採 択

常任委員会の審査報告

総務市民常任委員会

一般会計補正予算及び国民健康保険特別会計補正予算について

○令和4年度二本松市一般会計補正予算

問 歳入について固定資産税が増額補正された主な理由は。

答 増額となった主な理由は新築住宅及び新設の償却資産における税額が見込みより増額となったこと、また償却資産の課税免除の対象となるものが見込みより少なかったことである。

問 名目津温泉管理運営経費及び道の駅管理経費について各施設の電気料等の負担が増加し、それに伴い指定管理業務委託料を増額補正するとのことだが、その原因と補正額の根拠は。

答 原油価格の高騰により電力会社の料金が改定される等、物価上昇に伴う各種価格の見直しが続いている。そのため、令和3年度の電気使用量等の実績を基に、今年度の物価上昇を踏まえた必要見込額を算出し、その差額相当分を補正予算として計上した。

○令和4年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算

問 医療用機械器具購入費について、購入予定のコロナウイルス検査に使用する遺伝子増幅装置は、どのような機器なのか。

答 現在は、診療所内において抗原検査を行っているが、遺伝子増幅装置は抗原検査よりも精度が高く、導入することにより検査体制を充実させることが可能となる。

意見 コロナウイルス検査機器の導入については、最近、コロナの罹患者が増加しているので1日も早く設置して対応して欲しい。



机上審査の様子

産業建設常任委員会

指定管理者の指定について、一般会計補正予算について

○二本松市スカイピアあだたら温泉保養館の指定管理者の指定について及び二本松市スカイピアあだたらアクティブパークの指定管理者の指定について

問 アクティブパークを切り離し、それぞれの指定管理者を指定することで、指定管理業務委託料はどう変わるのか。また、仮に指定管理者が赤字決算となった場合でも、市からの補填は無いものと考えて良いのか。

答 アクティブパークの指定管理業務委託料については、これまで1,000万円計上していたが、670万円とし、削減を図ったところである。仮に赤字決算となった場合は、原則として、市からは補填しない考えであるが、物価高騰等による場合には、協議により決定するものである。



机上審査の様子

○令和4年度二本松市一般会計補正予算

問 水田農業改革支援事業について、対象面積及び対象戸数は。また、収入保険及びナラシ対策の加入者を対象としない理由と、その面積は。

答 対象面積は795.9ha、1,975戸を対象としている。収入保険は青色申告者、ナラシ対策は認定農業者や集落営農組織であることが加入条件であること、また、今年度の米価でそれぞれの支援額を試算したところ、10a当たり、収入保険で約10,100円、ナラシ対策で約13,700円の支援が受けられる状況を踏まえ、そのいずれの支援も受けることができない方に対して市独自に支援するとしたものである。なお、収入保険の加入面積は199.1ha、ナラシ対策の加入面積は404.3ha、合計604.3haである。

意見 道路等維持管理経費について、道路の破損等は人命に関わる事故にも繋がりがねないため、市民の安全確保のためにも、十分な予算を確保のうえ、破損箇所等が発見された際には早急に修繕すべきである。

12月12日に付託された各議案は、12月14日及び15日に各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日20日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

文教福祉常任委員会

二本松市城山市民プールの指定管理者の指定について、一般会計補正予算について

○二本松市城山市民プールの指定管理者の指定について

問 新たに指定する指定管理者は、どのような事業に取り組む予定か。

答 施設の利用促進として、キッズコーナーの充実やエアロバイク、卓球台の設置等の提案があった。

意見 新しい指定管理者が提案してきた内容は非常に評価できるものであり、ぜひ実現してもらいたい。

○令和4年度二本松市一般会計補正予算

問 保育所費の一般管理経費について、にほんまつ保育園の空調システムは、交換ではなく修繕で対応できないのか。また、その完了時期の見込みは。

答 現在の空調システムはアイルランド製のもので、そのメーカーが既に日本から事業撤退しており、部材もなく修繕もままならない状況のため、日本製のものに交換するものである。空調が必要となる令和5年度の夏前には交換が完了する見込みである。

意見 機器を選定する際には、内容を十分に精査するべきである。

問 中学校費の設備備品の整備充実経費について、東和中学校のISDN電話システムを、IP電話に切り替える考えはなかったのか。

答 IP電話への切替えについては、今後検討が必要な課題と考える。

意見 インターネット環境が整っているので、今後は、通話料金を抑えられるIP電話に交換することも検討してもらいたい。



机上審査の様子

決算審査特別委員会

議案などを専門的、合理的、能率的に審査する常設の常任委員会のほかに、特定事件を審査するために特別委員会を設置することができます。

12月定例会では、令和元年度から令和3年度までの下水道事業会計決算の再認定について審査するため、決算審査特別委員会を設置しました。

12月19日に、全体会で机上での総括審査・質疑が行われました。



一般質問

市の明日を考える!

12月定例会の一般質問は、12月12日から14日の3日間行われました。今定例会でも、新型コロナウイルス感染症対策として、長時間の三密を避けるため、質問時間を一人40分以内に短縮し、合計13人の議員により議論が展開されました。

主な質問については、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。 **【発言順】**



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読み取っていただきますと、録画映像をご覧いただけます。



高宮 正彦

[真誠会]

にほんまつ城報館への案内標識は 新型コロナウイルス感染症の対策は

問 二本松インターチェンジから案内標識を増やすなど分かりやすくする考えはあるのか。

答 にほんまつ城報館への案内看板は、今年度、二本松インターチェンジ出口、若宮橋付近、男女共生センター前に1か所ずつ設置し、城報館近隣には、のぼり旗を設置し誘導を図った。今後、城報館独自の小型の立て看板の作成、設置について検討していく。

問 パルスオキシメーターなどの貸与または配布の考えは。

答 医療機関で新型コロナウイルス感染症の陽性が確定すると、65歳以上の方、基礎疾患のある方、妊婦の方などは、発生届が管轄保健所に提出され、管轄保健所から陽性者への聞き取りを基に、パルスオキシメーターが送付される。発生届対象者以外の方については、本人から陽性者専用相談窓口連絡し、健康、宿泊療養及び生活支援物資の相談をしていただき、パルスオキシメーターが必要であるか確認されるので、必要な場合は福島県から直接送付される。

子育て支援・子ども食堂への支援は 市の過疎計画に基づく活用状況は



武藤 清志

[みらいの風]

問 子ども食堂の状況と市の支援体制はどのようになっているか。

答 子ども食堂は地域のボランティアが困難を抱える子どもたちに対し、無料または安価で栄養ある食事や温かな団らんを提供する取組を行っており、市内では2か所で運営されている。月2～3回程度開催され、令和3年度は約2,280人の利用があった。市は子ども食堂の活動の周知広報や助成事業の案内等の支援を実施しており、今後も連携協力を推進したい。

問 市の過疎計画に基づく過疎債の活用状況等はどのようになっているか。

答 昭和46年に旧岩代町、旧東和町が過疎地域指定を受け、合併後も現在まで50年以上にわたり過疎対象地域として、過疎債を活用し事業を進めてきた。過疎債の過去5年間の総額は岩代地域503,763千円、東和地域714,630千円で、市民が将来にわたり安全安心に暮らすことができるよう、対象地域計画事業の重要な財源の一つとして今後も有効に活用したい。



三木 剛

[無所属]

子育てにやさしい環境づくりは 学校施設防犯カメラの設置は

問 二本松市に出産する病院がない状態だが、なぜ出産する場所が二本松市に設置できないのか。

答 市においても分娩再開を目指して医師確保等の事業を実施しているが、分娩などの周産期医療を担う医師数の絶対数が全国・県内でも不足している状況にあり、再開に至っていない。また、県では、周産期死亡率の高さから、医療機能に応じた役割分担と連携体制の強化を実施することとしている。市内の出産は現状では難しいが、安心して子どもを産むことができる体制づくりを進めていく。

問 児童生徒の命を守る観点から学校施設に防犯カメラの設置を考えているのか。

答 防犯カメラについては、児童生徒や教職員の安全を守るため、不審者の侵入を未然に防ぐことや、事件発生などの抑止効果などがあると考えられる。防犯カメラの設置については、防犯の側面と、地域の方々が往来しやすい身近な学校を目指している側面を持ち合わせており、学校の立地環境なども考慮しながら、今後の検討課題とする。

循環型農業の推進は 昨今の農業情勢は

問 減農薬、減化学肥料の推進について市の取り組みや考えは。

答 国の「みどりの食料システム戦略」では、2050年に化学農薬で50%、化学肥料で30%を低減する目標である。本市においても、有機農業を含む循環型農業を推進し、持続的発展に向けた地域ぐるみのモデル的先進地区の創出に資するため「二本松市循環型農業推進協議会」を発足、6月より3回の検討会を開催してこの取り組みを推進する。

問 下水汚泥を利用した有機肥料を市で生産する考えはないか。

答 国際情勢を背景にリン酸アンモニウムが急騰していることから、下水汚泥を肥料に利用することは、肥料高騰対策・資源循環の取り組みとして期待されるが、施設の建設費等高額であるため、現時点では考えていない。

問 現農業情勢から将来の食料安定供給策は。

答 国・県の動向を注視し、持続可能な食料システムの構築と、本市の特色を生かした振興を図る。



佐藤 運喜

[みらいの風]



坂本 和広

[真誠会]

スポーツ行事等での施設使用料減免は 当市の移住政策は

問 営利を伴わない団体による大会前日の準備や翌日の片づけの施設使用料の減免の考えは。

答 今後、開催される大会の規模や時間等を考慮し、減免の対象となる日を検討していく。

問 移住を専門に受け付ける部局や窓口の設置は。

答 専門的に移住・定住関連業務に従事できれば理想だが、配置的に難しいため、行政と地域が一体となって取り組んで参りたい。

問 移住セミナー等の実施状況とセミナー参加者による移住者確保の状況は。

答 令和3年6月実施のセミナーで3名中2名、令和4年2月実施で8名中3名移住されたところである。このようなセミナーの開催が移住につながっていることから、内容等の充実・工夫をしながら積極的に取り組んで参りたい。

問 地域おこし協力隊増員という方策による当市の魅力発掘の考えは。

答 令和4年度は9名の協力隊員を任命しており、県内においては積極的に活用している状況で、隊員の方々自身も多数定住している。

福島介護福祉専門学校の閉校の経緯は 安達ヶ原ふるさと村の現況は



齋藤 徹

[みらいの風]

問 専門学校が閉校に至った経緯について、市はどのように把握しているのか伺う。

答 少子化に伴う受験者数の減少や卒業と同時に付与されていた介護福祉士の資格が、法の改正により国家試験の合格が必要となり、入学者が減少し学校運営が困難となった。在校生が卒業する令和5年3月で閉校する報告を受けた。

問 学校の跡地利用に関して、市の考えを伺う。

答 敷地は市の財産であるが、建物はあだち福祉会の財産であり、閉校後の利活用については、未定で

あると伺っている。

問 ふるさと村のふるさと館の休業や先人館・子供館が完全予約制となった経緯を伺う。

答 令和4年9月20日、㈱二本松市振興公社の取締役会にて、11月2日より毎週水曜日を定休とした。さらに、10月28日の同取締役会にて、12月1日から来年3月までレストランの休業及び先人館・子供館を予約制とした。コロナ禍での利用者の減少及び物価高騰等に対応するため、経費削減を図り経営状況を改善する。



佐久間 好夫

[真誠会]

問 児童・生徒のタブレット操作習得状況を伺う。

答 タブレットの操作習得状況は、教育委員会による学校訪問や指導主事の各校巡回訪問等で、ほとんどの児童生徒が困り感なく操作しているが、操作に苦手意識を持っている児童生徒も若干名見られることも事実である。教師による個別支援や児童生徒同士の教え合いにより、授業に参加できない状況にはなっていない。市ICT支援員の活用や、教職員のICTに係る研修を開催して、タブレット操作を苦手とする児童生徒への支援を充実させ

GIGAスクールは 橋梁の補修整備は

たいと考えている。

問 橋梁の補修整備について伺う。

答 林道「植柳線」の「一級河川安達太田川」に架かる「信田橋」は床板の凍害による剥離、鉄筋露出、ひび割れが見られ、令和5年度に調査設計を行い、令和6年度に国の補助事業採択を目指して、補修工事を実施したい。市道「鷹巣・白髭線」の白髭橋は、高欄のガードレール袖部分が一部破損しており、早急に補修を行う。

介護サービス事業の実態と課題は 二本松市公共施設個別施設計画の進め方は



堀籠 新一

[真誠会]

問 第1号被保険者数（65歳以上）の実態は。

答 令和4年9月末で18,398人で、増加傾向である。

問 要介護認定者数の実績は。

答 要介護1が775人、要介護2が648人、要介護3が552人、要介護4が518人、要介護5が371人で、微増傾向が続いている。

問 介護サービス事業所の人材確保の実態と課題は。

答 必要な介護職員を募集しているが応募者がなく、各事業所で苦慮している。施設サービスでは、ローテーションによる勤務体制を組むのが困難で、

居宅サービスでも介護職員の高齢化が進み、これまで同様のサービスが将来難しくなり、次世代の人材確保が課題である。今後、各種介護人材確保対策事業に対する補助制度があるので、各事業者へ周知し、人材確保の支援に努める。

問 個別施設計画の具体的な進め方の見解は。

答 各施設の修繕・改修は利用状況や安全性のほか、統合や廃止の可能性も含め、市民や地域のニーズを把握した上で、総合評価の低い施設を中心に、財政負担の平準化を図り、優先的に対応する。



小林 均

[令和創生の会]

問 带状疱疹ワクチンの効果をどう考えるか。また、ワクチンの周知と接種の推進の現状は。

答 発症予防や発症後の後遺症を予防する効果がある。現在は、任意予防接種であり、ワクチンの周知や接種の勧奨は行っていないが、今後医療機関等と協議し検討を進めたい。

問 带状疱疹ワクチン接種の助成の考えは。

答 現在、任意予防接種であり、助成の予定は無いが、厚労省の小委員会にて定期予防接種化検討中の1つであり、国の動向を注視していきたい。

带状疱疹ワクチン接種への助成の実現を 投票率向上の施策・選挙支援カードの導入

問 障がいを持った方が、投票を行いやすくなる「選挙支援カード」を作成し導入する考えは。

答 投票を支援する方法として非常に有効なものであり、今後の選挙での導入を検討していく。

問 共通投票所と、期日前投票所のショッピングセンター等への設置の考えは。

答 投票所の人員体制の確保、二重投票防止のための確認方法等とスペース確保の課題等がある。

問 投票箱を載せた移動期日前投票所の巡回は。

答 先の課題の解決方法も含め検討していきたい。

本市でのパワハラへの対応、救済、制裁は 竹破砕機購入し農地等の適切な維持管理を

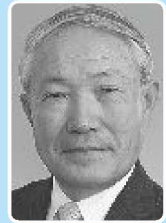
問 どんな組織でもハラスメントをゼロに近づける努力はされるべき、法律で事業主にパワハラ防止義務が課された。本市の対応、救済、制裁はどう規定されているか。

答 平成31年「市職員のハラスメント防止に関する規程」を施行し、パワハラのほか、セクハラ、マタハラ等ハラスメント全般の防止と排除に努める。苦情相談が寄せられた場合、複数の職員で調査確認し、必要がある場合は副市長、職員団体推薦等の職員で構成する苦情処理委員会で処理し、調査

の結果、懲戒処分が付されることがある。ハラスメントを防止し、快適な勤務環境を確保するよう努める。

問 耕作放棄地等が増え、竹藪が広がり問題である。市で竹破砕機を購入し自治会等に貸出し、共同作業で農地等の維持管理に取り組むべき。

答 購入と貸出しについては、農地等の適切な維持管理、循環型農業推進のうえでも有効な手段の1つであるが、伐採や集積作業など負担が大きいこと等踏まえ、今後の研究課題としたい。



菅野 明

[日本共産党二本松市議団]



小野 利美

[市政会]

問 人口流出に歯止めをかけるための施策の市長の考えは。

答 本市に、今現在、住んでいる全ての方々に「二本松市に住んでよかった。二本松市に住み続けたい。」と思っていただけるよう、地元雇用環境の整備や新規就農者の支援、住宅環境の整備、子育て支援・福祉の充実、教育環境の整備など、各種施策・事業を着実に推進し、人口流出対策・人口減少対策に積極的に取り組んでいく。

人口減少対策事業 市道平石高田・安達ヶ原線の道路整備

問 道路の舗装補修整備の計画は。

答 平石高田1丁目地内及び安達ヶ原3丁目地内の一部区間において、今後の修繕計画の中で部分的な補修を実施していく。

問 歩道設置整備の考えは。

答 二本松第二中学校、石井小学校及び大平小学校の通学路であり、また国道4号渋滞時の迂回路としての利用者が多く、交通量が增大している状況から、今後の歩道整備計画の中で、財政状況を十分考慮し検討していく。

駒ヶ根市議会 友好都市市議会親善訪問 10月11日~10月12日

駒ヶ根市と二本松市は、独立行政法人国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊訓練所がある都市同士として、平成12年に友好都市協定を締結し、平成25年度から親善訪問を行っています。

今回で3度目となる二本松市への親善訪問は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2年間延期されたもので、感染防止策を講じての交流となりました。

歓迎セレモニーでは議長より歓迎のあいさつを行い、視察では、JICA二本松の田中宏幸所長より訓練所の概要の説明と施設案内をしていただきました。また、二本松市歴史観光施設「にほんまつ城報館」、二本松の菊人形、道の駅さくらの郷、杉沢の大スギを巡り、本市の歴史、観光及び文化に触れていただき、駒ヶ根市議会との交流を深めました。



駒ヶ根市議会議員との集合写真



二本松少年隊群像前

令和4年度安達地方市町村議会議長会 議員研修会 11月18日

令和4年度の安達地方市町村議会議長会議員研修会は、大玉村農村環境改善センターを会場に開催されました。

公益社団法人日本看護協会会長 福井トシ子先生（大玉村出身）を講師に招き、「地域における健康・療養支援の強化」を演題に講演いただきました。

現在の日本の保健・医療・福祉提供体制については、疾病発症後の対応が中心であること、健康な時からの健康増進・疾病予防、必要な支援につなげていない人への介入が不足していること等、課題指摘があり、制度の狭間に落ちる可能性のある人のフォローアップが必要との認識が示されました。日本看護協会としての将来ビジョンについても説明を受け、参加議員一同は理解を深めました。



講演:「地域における健康・療養支援の強化」

請 願 ・ 陳 情 に つ い て

Q「請願」「陳情」ってよく聞きますが、どういうものなの？

A 市民の皆さんの要望を市政に反映させる方法の一つに「請願」や「陳情」があります。市民の皆さんに限らず、どなたでも市政への要望などを請願書や陳情書として議会に提出することができます。

Q「請願」と「陳情」の違いは？

A 議員の紹介があるものを「請願」、ないものを「陳情」と言い、「請願」は委員会で審査され、本会議で採択・不採択を決めます。

本市では、「陳情」は内容によって「請願」と同じ扱いにするかなどを議会運営委員会で決定し、「請願」扱いにならなかった「陳情」は陳情書の写しを全議員に配布することとなります。

Q「請願」が採択されたら、どうなるの？

A 採択されたものは、市長にその実現を要望したり、国や県、関係機関に意見書などを提出したりします。

Q提出の方法は？

- 提出場所 二本松市役所5階 議会事務局
- 受付締切 定例会開会日の概ね5日前の午後5時まで
※3月、6月、9月、12月の定例会で審査されます。
また、締切日を過ぎた場合は次回の定例会扱いとなります。
- 問合せ先 議会事務局（電話 0243-55-5144）
(記載例)

(表紙)	(内容)
請 願 書 (陳情書)	件名
〇〇〇〇に関する請願書	請願の趣旨
	理由
	年 月 日
	請願者住所
紹介議員署名 (または記名押印)	氏名(署名または記名押印)
	二本松市議会議長 様

◎紹介議員の署名か記名押印が必要です。

市政功労者表彰

12月1日、コンサートホールにて市政功労者表彰式が行われ、12年在籍した議員として、2名の議員が特別功労表彰を受賞しました。



熊田 義春 議員 安齋 政保 議員

会議録検索システム



会議録検索システムにより、会議録の検索・閲覧ができます。



QRコードを読み取るか、市議会のホームページからアクセスください。

お知らせ

次回の定例会は2月下旬に開会の予定です。本会議の傍聴は、市役所6階の議場・傍聴者入口からご案内しています。傍聴の際は、マスクの着用など新型コロナウイルス感染対策にご協力をお願いします。市議会だより、または、当市議会に対するご意見感想をお寄せください。



市議会だより編集委員会

〒964-8601 二本松市金色403番地1

TEL 55-5143 (議会事務局)

FAX 22-6047

E-mail gikaisomu@city.nihonmatsu.lg.jp



野地久夫議員逝去



野地久夫議員が令和4年12月11日ご逝去されました。

野地議員は平成11年10月1日より旧安達町議会議員として当選以来、23年2か月にわたり、市政の発展に大いに貢献されました。

その間、市議会議長をはじめ、議会運営委員長などの要職を歴任されました。

故人のご冥福をお祈り申し上げます。

会派・委員会の構成が変わりました 令和4年12月12日現在

会派名	役職	会員
みらいの風 (5名)	会長	鈴木 一弘
	副会長	佐藤 源市
	幹事	斎藤 徹志
	理事	武藤 清志
	責任者	佐藤 運喜

◆ 議会運営委員会委員について、令和4年12月14日に熊田義春議員が選任されました。

委員長 安齋 政保
副委員長 斎藤 徹二
委員 高木 正清
委員 武藤 彦志
委員 坂本 広二
委員 斎藤 保

編集委員会

委員長 安齋 政保
副委員長 斎藤 徹二
委員 高木 正清
委員 武藤 彦志



新年、おめでとございます。市民の皆様におかれましては、更に輝かしい年になります事を心より祈念申し上げます。昨年も長引くコロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻による国際的な物価高騰などにより市民生活に影響を残しています。市政進展への議会の対応や議員の質問などを中心に紙面を通じて伝えて参りますので、皆様のご意見を頂ければ幸いです。今後も、市民の皆様にわかりやすい議会だよりを発行して参ります。(斎藤徹)

編集後記